

学術委員会2009年度活動計画

委員長 中井 里史（横浜国立大学）

学術委員会は、下記の方針および内容に従って活動を行う。現時点では、方針等の確認を行った上で、分科会活動については本年度学会総会でのシンポジウム開催に向けて準備を開始している。その他の事項に関しては、まだ情報収集および検討段階である。

1. 委員会活動方針

- ① 下記の内容を取り上げる。ただし、他委員会等との調整が必要となる項目もあるため、今後変更になる可能性もある。
- ② 担当を定める必要もあるが、任期終了に伴い、担当が替わったとしても対応できるシステム作りを行う。
- ③ 委員会は、メンバーが各地に散らばっていることもあり、原則としてメールで行うこととし、各月の第一週を会議にあてる。なお、学会総会の際は、会議を設けるとともに、必要が生じた場合は会議を開催する。

2. 活動内容

① 分科会活動の活性化

現在、ポスター発表により、分科会活動の報告を行っているが、毎年の学会総会において、分科会（シンポジウム）を持ち回りで開催する。開催時間に関しては、その都度大会事務局と相談する。

② 英文誌（East-Asian Journal of Indoor Environment（仮題））の刊行準備

- 1) 日韓台の学術協定に基づき、情報の共有を目指した英文誌の発刊を計画する。
- 2) 将来的には、東アジア地域で対応できるような雑誌に移行しやすくことを念頭におく。

③ 諸外国の室内環境に関する様々な情報収集および発信

室内環境に関する各種情報を（HP等より）収集し、HPより学会員に情報発信する。

④ その他

学術委員会の位置づけとしては、いくつかのいわばルーチンワーク的な活動（分科会活動等）と提案型の活動を行うこととし、学術的観点から学会活動や委員会活動のニッチを埋める役割をもになうと考えており、上記以外の件についても何点か検討中である。

3. 学術委員会のメンバー

阿部 恵子（環境生物学研究所，分科会）
 関根 嘉香（東海大学，分科会）
 野崎 敦夫（東北文化学園大学，分科会）
 東 賢一（近畿大学）
 櫻田 尚樹（国立保健医療科学院）
 小林 智（北海道立衛生研究所）